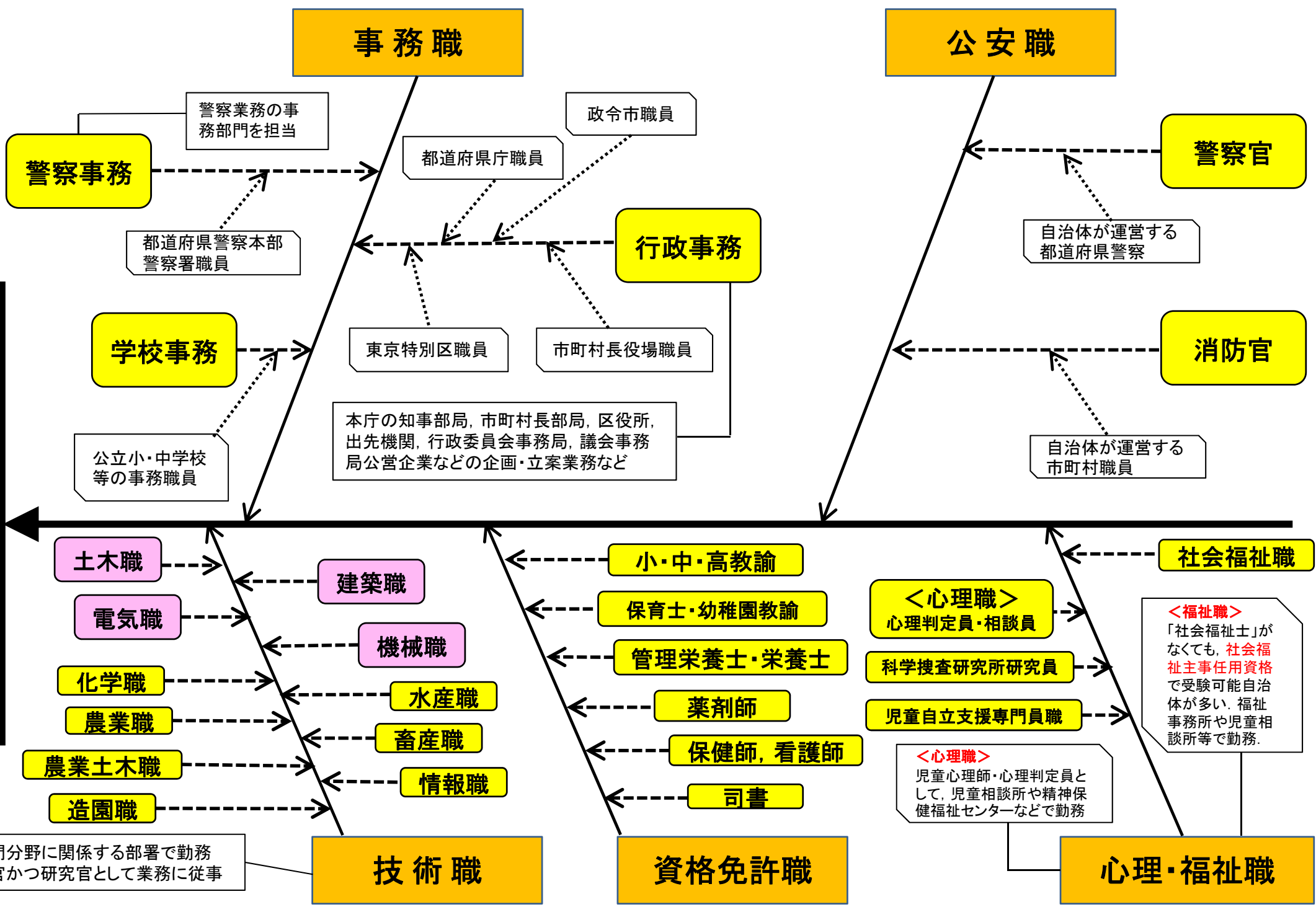


# 地方公務員の職種と種類

地方公務員の職種と種類



国家公務員試験の種類

行政府

行政府: 専門職

政策の企画・立案, 調査・研究とする  
最高幹部候補  
⇒ 本省, 地方支分部局, 自治体など全国的な業務を行う

国家総合職

- <10の試験区分>
- 政治・国際
  - 法律
  - 経済
  - 人間科学
  - 工学
  - 数理科学・物理・地球科学
  - 化学・生物・薬学
  - 農業科学・水産
  - 農業農村工学
  - 森林・自然環境

定型的な事務を職務とする  
中堅幹部候補  
⇒ 本省採用と地方支分部局での採用がある

国家一般職

<10の試験区分>

行政(地域ブロック採用), 電気・電子・情報  
機械, 土木, 建築, 物理, 化学, 農学  
農業農村工学, 林学(技術: 全国採用)

<行政: 9の地域ブロック>  
北海道, 東北, 関東甲信越, 東海北陸  
近畿(2府4県), 中国, 四国, 九州, 沖縄

国税専門官

国税局や税務署で勤務する税のスペシャリスト  
⇒ 国税調査官・国税徴収官・国税査察官

財務専門官

財務局で勤務する財政, 金融等のプロフェッショナル  
⇒ 国有財産の有効活用  
⇒ 予算執行調査などの財政業務  
⇒ 地域金融機関の検査・監督  
⇒ 地域経済情勢の調査・分析

労働基準監督官

厚生労働本省, 全国各地の労働局, 労働基準監督署に勤務する厚労省の専門職員

航空管制官

皇宮護衛官

食品衛生監視員

法務省専門職員

<人事院以外: 独自機関試験>  
外務省専門職員, 防衛省専門職員  
自衛隊幹部候補生

家庭裁判所調査官補(総合職)

家庭問題を家事審判や家事調停などで解決する。  
また, 非行を犯した少年について処分を決定

司法府

裁判所事務官(総合職)

裁判部門(各種裁判を運営)と司法行政部門(事務局)に分かれる  
⇒ 一般職の裁判所事務官は, 高等裁判所管内で異動がある。

<管轄区域>  
東京高裁, 大阪高裁(近畿の2府4県), 名古屋高裁, 広島高裁, 福岡高裁  
仙台高裁, 札幌高裁高松高裁

裁判所事務官(一般職)

裁判所職員として一定期間勤務した後, 内部試験に合格すると裁判所書記官になることが可能。

衆議院事務局職員

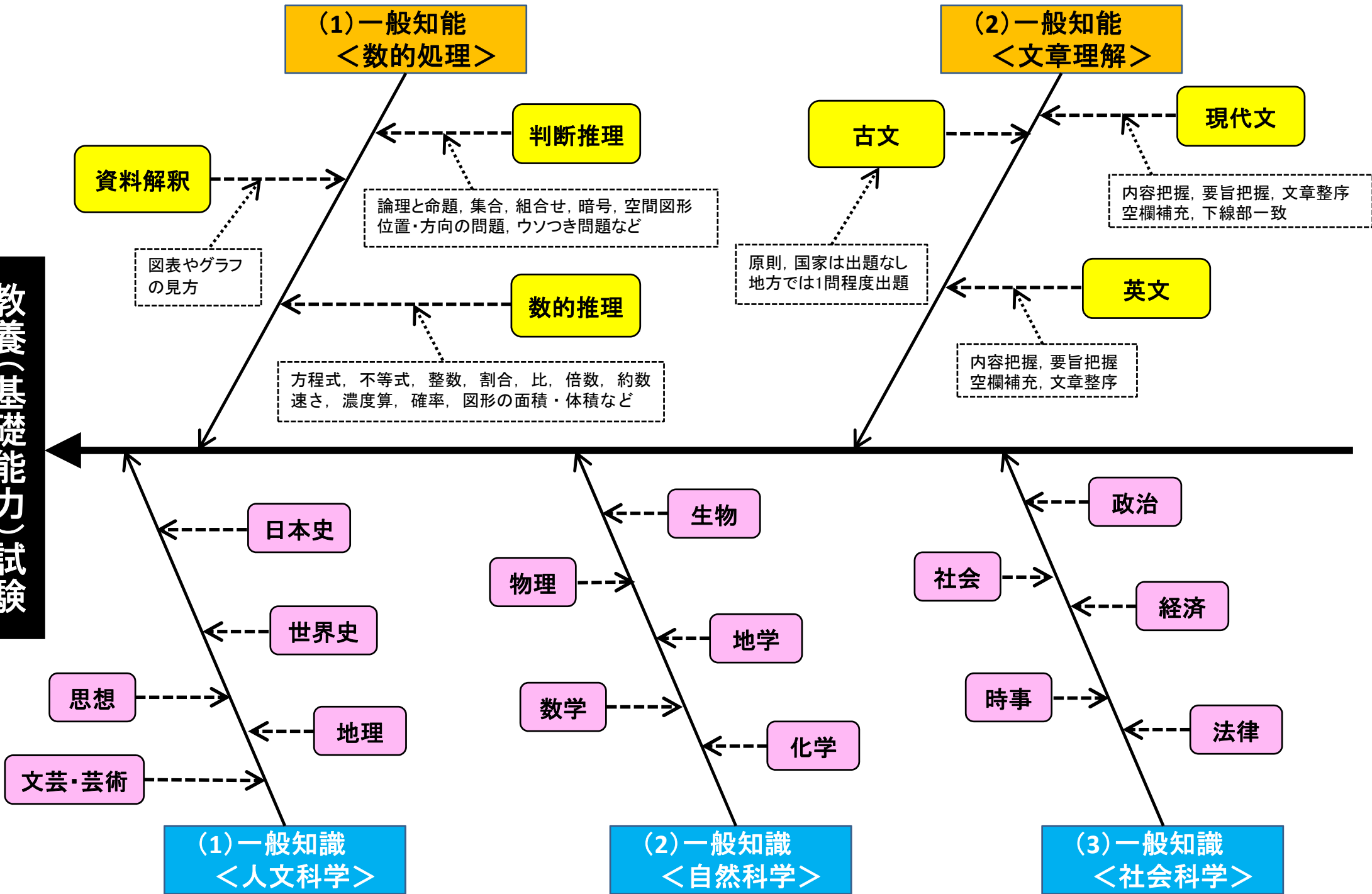
参議院事務局職員

国立国会図書館職員

立法府

# <公務員試験> 教養(基礎能力)試験

## 教養(基礎能力)試験



# <公務員試験> 専門試験

